

# Rotary 週報



第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号  
大阪駅前第3ビル30階(〒530-0001)  
電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556  
ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>  
メール [office@osakawestrc.org](mailto:office@osakawestrc.org)  
例会日 毎週月曜日 12時30分  
例会場 ヒルトン大阪  
会場電話 06-6347-7111

会長 小寺 隆弘  
幹事 奥田 祐一  
会報委員会 八木 雄毅

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。  
Ⅰ 真実かどうか。Ⅱ みんなに公平か。Ⅲ 好意と友情を深めるか。Ⅳ みんなのためになるかどうか。

## 世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD

ゴードン R. マッキナリー

No 2625 2023年12月18日 第3052回例会

### 本日のお知らせ

- ◆ R. S. 「我等の生業」
- ◆ 卓話 「公益通報者保護法について」  
末永 京子 君
- ◆ 第6回メンバーシップデベロップメント・コミッティ(MDC)定例会開催  
例会前11:30より、ヒルトン大阪4階真珠の間にて開催致します。メンバーはご出席ください。  
※ メークアップ対象行事です。
- ◆ 被選理事会開催  
例会終了後、ヒルトン大阪4階銀河の間にて開催致しますので、次年度理事・役員の方はご出席ください。

### 次例会のお知らせ

- ◆ 移動例会および会員・家族親睦忘年会開催  
日時 2023年12月25日(月)17:30 受付開始  
18:00~18:30 移動例会  
18:30~20:30 会員・家族親睦会  
場所 ヒルトン大阪 4階 金の間  
会費 会員 18,000円 家族 12,000円

※ 12:30 開始の例会を繰り下げ、18:00 より移動例会を、会員親睦忘年会と共に開催いたします。

### 前例会の報告

- ◆ 前例会 (12月11日)の来客者 16名  
うち国内来客者 1名  
海外ゲスト 1名  
国内ゲスト 14名
- ◆ 前例会 (12月11日)の出席状況  
出席会員数 (内10名免除会員) 57名  
欠席会員 29名  
出席規定適用免除会員 20名  
会員総数 96名  
出席率 66.28%
- ◆ 11月20日の例会の出席率 (MJを含む) 73.86%

- ◆ ニコニコ箱 (12月11日分)
  - ニコニコ協力です。 泉 裕之 君
  - 荘村先生、よくお越し頂きました。有難うございます。 鴨谷 清三 君
  - 本日は荘村様よろしくお願ひ致します。また、10年連続奈良マラソン無事完走しました。 小寺 隆弘 君
  - 誕生日祝。 中安 敬人 君

12月のロータリーレートは1ドル=147円です

- 莊村様、本日は卓話と演奏ありがとうございます。  
真田明子様、趙海鷹様、本日はご来場ありがとうございます。  
奥田 祐一 君
- 同好会ゴルフコンペ、大阪リバーサイドRCとの交流会で図らずも優勝させて頂きました。  
大富 國正 君
- 入会させていただきました、土保です。どうぞよろしくをお願いします。  
土保 直 君
- 地区大会晩さん会盛況で大好きな川井郁子さんのヴァイオリン演奏すてきでした。大阪西RCからたくさんの会員出席ありがとうございました。  
土保直さんの新入会を祝して！ 横尾 泰治 君

ニコニコ箱 (12月11日分)

クラブ・ニュース

◆ 新入会員の紹介

12月11日に新入会員をお迎えいたしました。  
今後の御活躍をお祈りいたします。  
当クラブ会員は現在96名です。

◇氏名：土保 直  
(つちやす なおし)

職業分類：木工機械販売  
(Woodworking Machinery)

推薦者：横尾 泰治・中西 洋介



◆ ガバナーメッセージ

疾病予防と治療月間

ゴードンR マッキナリーRI会長は、今年度の強調事項の一つにメンタルヘルスへの取り組みを挙げています。コロナのパンデミック終息後も苦難や孤独を強いられ、心の健康の問題を抱え、誰にも相談できずに悩んでいる人が多くいるからです。そして、具体的目標の一つに、「心の健康の問題に伴うステイグマ（偏見）の解消」を挙げています。

「心の健康の問題に伴うステイグマ」とは、「精神疾患は治らない、怖い」「精神疾患にかかるのはこころが弱い人だ」といった誤った知識、「近くに居たくない」「一緒に働きたくない」などといった拒否的態度、「実際に雇わない」「口を利かない」などの排他的な行動などを指します。当事者は、ステイグマにより自尊心が傷つけられ、自信が欠如し、社会から排除されていきます。

ステイグマをなくすためには、精神疾患は回復可能であること、誰もが地域生活を続けるための支援を受ける権利があること、精神疾患は誰もが経験する

可能性があること（罹患率の高さ）について学ぶ必要があります。

精神疾患の生涯有病率（一生のうちにかかる割合）は、国際的に4人に1人、日本では少なくとも5人に1人とされており、自分や友人を含めて誰もがかかりうる可能性があります。まずは、精神疾患に関することを、「ひとごと」ではなく「自分のこと」として捉え、他人が抱えている心の辛さに気づき、共感できる力を養っていくことが大切です。

具体的には、下記の様なアプローチがあります。

●心の不調を持つ人と会って話す

心の不調をもつ（もっていた）人と実際に会い、話を聞くことで、心の不調は特別な人にだけ起こるものではないこと、心の不調を抱えた場合の適切な支援、日常生活を継続できることなどを理解できます。

●動画などを通じて、心の不調をもつ人の生活を知る  
心の不調を持つ人が自身のことを語ったり、日々の活動の様子を紹介したりする動画（例。DVD やオンラインサイト）を見ることも、ステイグマ軽減に有効とされています。

●その他のメディア

テレビやインターネット、新聞など様々なメディアが情報を発信していますが、その内容が、心の不調をもつ人の支援を目的に制作されていれば、メンタルヘルスの知識習得とステイグマ軽減に役立ちます。

私たちは、世界を変える行動人です。こころの健康の問題に伴うステイグマ（偏見）の解消に向けて行動しましょう！

ガバナー 延原 健二  
(ガバナー月信12月号より)

♪本日のロータリーソング♪

「我等の生業」

我等の生業さまざまなれど  
集いて図る 心は一つ  
求るところは 平和 親睦  
力むるところは向上奉仕  
おおロータリアン 我らの集い

「蛍の光」

蛍の光 窓の雪  
書(ふみ)読む月日 重ねつつ  
いつしか年も すぎの戸を  
開けてぞ今朝は別れ行く